

透 析 内 科

【目的】

透析内科は、血液透析、濾過、吸着、血漿交換など血液浄化療法の最先端技術を駆使して、腎不全、肝不全などの各種臓器不全、膠原病、潰瘍性大腸炎や各種神経、皮膚疾患などの難治性疾患の治療を行っている。高齢化社会をむかえ、血液透析を例にとっても、糖尿病性腎症をはじめとする末期腎不全による透析導入は年々増加しており、臨床医としての血液浄化治療の修得は必須のものとなりつつある。

血液浄化療法の理解を深め、臨床医としての全人的医療をめざすことを本実習における目的とする。

【実習の実際】

I. 研修到達目標

一般目標

- (1) 血液浄化療法についての一般的知識を実際の診療を通して習得する。

行動目標

- (1) 良好な人間関係のもとで患者、医師、看護師、臨床工学士とのコミュニケーションができる。
- (2) 患者およびその家族の立場に立って、血液透析および血漿交換療法など実際の診療を修得する。
- (3) 患者個々の情報を適切に収集し、分析することによって患者の問題点を理解する。
- (4) 血液透析および血漿交換療法など治療を要する病態を十分理解し、診断、治療方針をたてることができる。
- (5) 診療録および指示表の意義を理解することができる。
- (6) バスキュラーアクセスの選択と適応を理解することができる。
- (7) 内シャント造設術やCAPDチューブ挿入術の手術術式を理解することができる。

II. 研修方法

(1) オリエンテーション

オリエンテーションについては研修の初日に担当教員から研修の内容について具体的に説明がある。

(2) 透析内科研修

- ①入院患者および外来患者を指導医とともに受け持ち、適切な治療計画を立案する。
- ②担当患者に対して、血液浄化の適応となる基礎疾患およびその治療としての血液浄化療法の医学的理解を深める。
- ③血液浄化療法におけるチーム医療の一員として、医師のなすべき役割を理解する。

週間スケジュール（学内）

研修希望者に対する具体的な説明を予定しているが、週間スケジュールは下記の如くである。

月曜日

- 8:30～ 患者カンファレンス
- 8:50～ 血液浄化療法開始
- 10:00～ オリエンテーション、講義

火曜日

- 8:30～ 患者カンファレンス
- 8:50～ 血液浄化療法開始
- 10:00～ 透析室見学(血液浄化療法中の観察項目、透析条件などをチェック)
- 12:00～ 血液浄化療法終了

水曜日

- 8:30～ 患者カンファレンス
- 8:50～ 血液浄化療法開始
- 10:00～ 透析室見学(受け持ち症例の透析経過表を作成)
- 12:00～ 血液浄化療法終了

木曜日

- 8:30～ 患者カンファレンス
- 8:50～ 血液浄化療法開始
- 10:00～ レポート作成

金曜日

- 8:30～ 患者カンファレンス
- 8:50～ 血液浄化療法開始
- 10:00～ レポート返却

- ・ 金曜日朝 9 時までにはレポートを作成し、提出してください。
- ・ 担当症例の透析スケジュールによって、水曜日と木曜日の内容が入れ替わります。

担当教官

正木 崇生 教授（部長）
土井 盛博 助教
下田 大紀 医科診療医
森井 健一 医科診療医

Ⅲ. 研修施設

研修は最初の1週間を大学で他の1週間を一陽会原田病院及び一陽会クリニックで研修する。なお、詳細は第1週目に部長より説明する。

指導医 一陽会原田病院 重本 憲一郎 院長
一陽会クリニック 碓井 公治 院長

Ⅳ. 評価

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	20
講義の理解度	20
レポートの内容	20
小テスト	20
試問	20